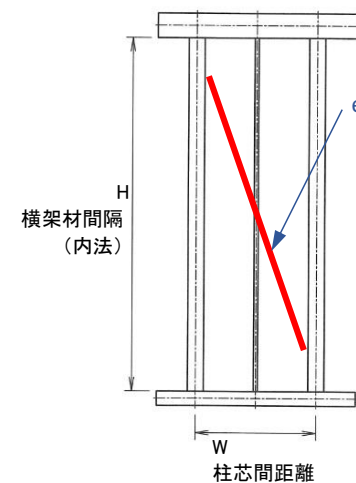


## 【施工手順】

### ■ 設置のイメージ

- ① 横方向：柱－柱に取付
- ② 高さ方向：土台－梁間の中央に取付



#### 1. 高さ方向の位置出し

##### A) 横架材間隔(内法)の中心高さから求める方法 (横架材：土台、梁あるいは桁)

- 1) 横架材間隔(内法)Hの1/2Hの高さに基準線①を墨付けする。[図1 参照]
- 2) 適合する柱間距離(内法)から寸法aの値を選択し、基準線②を墨付けする。[表1 参照]

##### B) 現物合わせで求める方法

- 1) evoltz L220 の上側ブラケット上端を現場の柱と梁とに突き当てて下側ブラケット下端と土台との隙間Hを測定する。
- 2) evoltz L220 の下側ブラケット下端と土台との隙間が1/2 Hになるように設置すると、横架材間隔(内法)の高さ中央に位置合わせできる。

#### 2. 制振装置の位置決め

- 1) 基準線② 取付面側に野書き線 追加  
図4 のように野書き線を追加する。

##### 2) 制振装置

###### 下側ブラケットの位置決め

- a) 制振装置ブラケットの下端を基準線②に、
- b) ブラケットのビス穴中心(2箇所)を追加した野書き線に、それぞれを合わせて位置決める。

##### 3) 制振装置

- 下側ブラケットの固定  
付属のビス(L=75mm)  
× 8本で  
柱にブラケットを固定する。

図1 墨付け位置

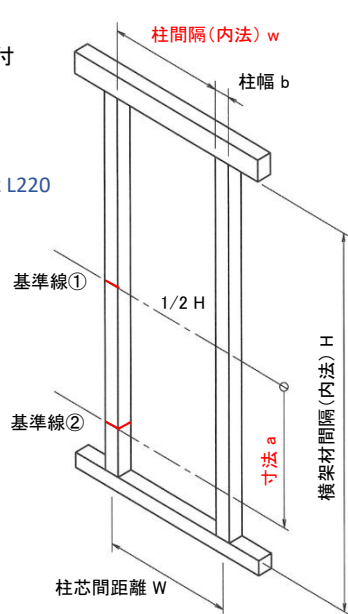


表1 寸法a (基準線①－②間隔)

柱間距離 内法寸法 w mm	a (①－②間隔) 下側ブラケット下端 mm
780～782	1095
783～788	1094
789～793	1093
794～799	1092
800～804	1091
805～810	1090
811～815	1089
816～821	1088
822～826	1087
827～831	1086
832～837	1085
838～842	1084
843～847	1083
848～852	1082
853～857	1081
858～863	1080
864～868	1079
869～873	1078
874～878	1077
879～883	1076
884～888	1075
889～892	1074
893～895	1073

図2 現物合わせによる高さ決め

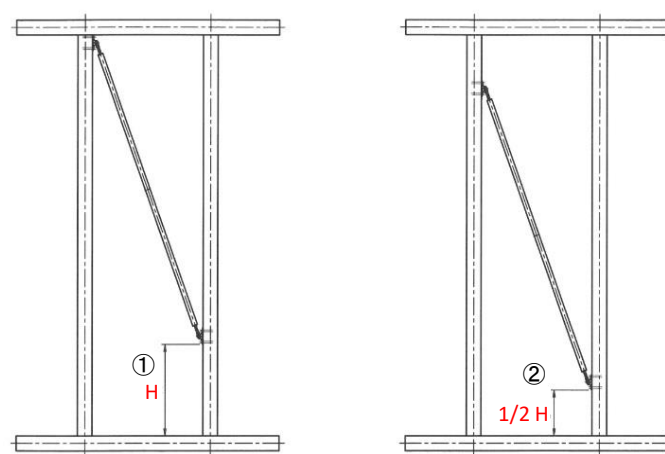
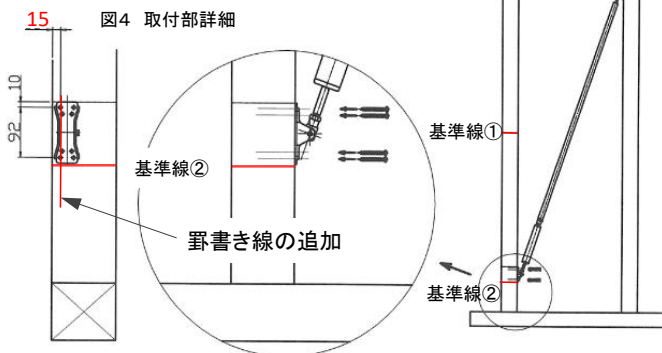


図3 取付位置



#### 3. 制振装置 上側ブラケットの位置決めと固定

- 1) 上側ブラケット取付位置に野書き線を追加  
ビス穴中心(2箇所)の目安として、  
右図(図6)のように野書き線を追加する。

- 2) 制振装置 上側ブラケットの固定  
付属のビス(L=75mm) × 8本で  
柱にブラケットを固定する。

※制振装置本体の取付姿勢に関わらず  
(上下逆さでも、水平でも)  
性能は変わりません。

#### 4. 間柱の取付

##### 1) 間柱の加工寸法

間柱に於いて、高さ方向の中央位置に  
右図(図7)の切欠きを設ける。  
高さ方向：中央位置 ±110 mm

- a) 柱内構面端部に設置する場合
- b) 柱内構面端部から 5mm 奥に設置の場合  
※ 図4 および図6 の追加野書き線は  
端面から 20mm(=15+5) 位置に設けること
- c) 柱内構面端部から 12mm 奥に設置の場合  
※ 図4 および図6 の追加野書き線は  
端面から 27mm(=15+12) 位置に設けること

##### 2) 間柱の取付

間柱にタワミ(湾曲)が  
生じないように取付ける。

図8 間柱の取付

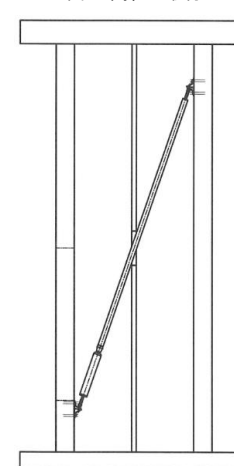
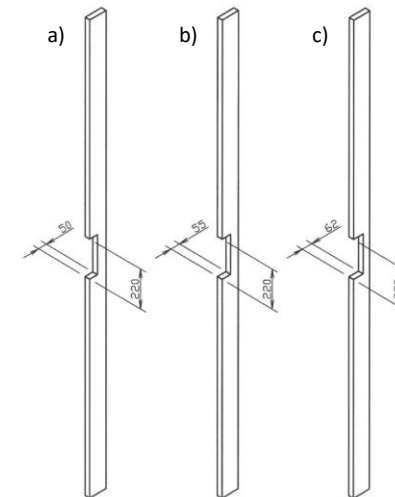


図7 間柱の加工寸法



#### 【製品仕様】

##### セット内容 (図9 参照)

###### A) 制振装置 1本のセット構成

- 1) 制振装置本体 (evoltz L220) 1本
- 2) 制振装置専用ビス 16本

###### B) 梱包内容

- 1) 制振装置セット 2セット
- 2) 施工手順書 1枚
- 3) 制振装置専用 予備ビス 1本

図5 上側ブラケット固定

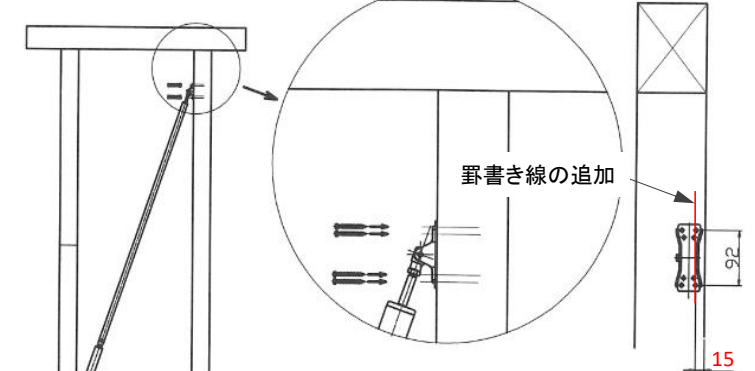
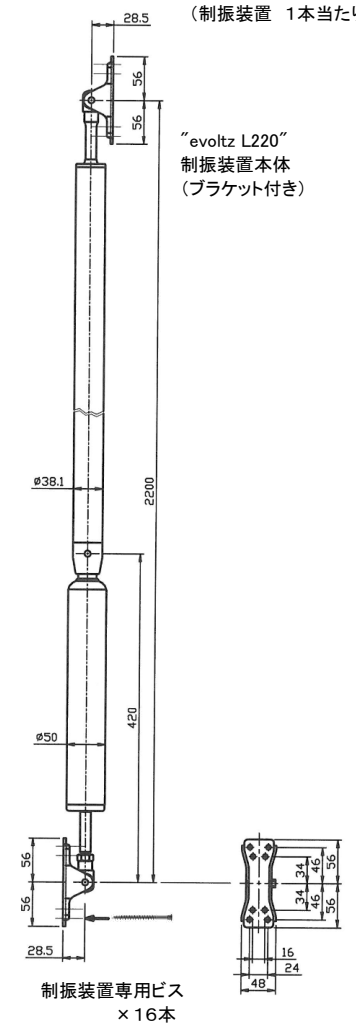


図6 上側 取付部詳細

図9 制振装置セットの構成  
(制振装置 1本当たり)



evoltz L220

CHIHIRO X BILSTEIN  
Innovative collaboration with a global part maker